

東照宮へ、ロマネスク日光街道④

日時：2022年11月26日（土） 天候：雨のち曇 歩数：22000歩 距離：13km

集合：東武伊勢崎線北越谷駅10時00分

コース：北越谷駅→桜堤通り→元荒川河川敷→北越谷第5公園→元荒川緑道→宮内庁埼玉鴨場→
越谷梅林公園→日光街道北上→下間久里香取神社→陸橋入口交差点→戸井橋→大枝公園→林西寺
→粕壁八坂神社→東八幡神社→東陽寺→春日部市郷土資料館→ぷらっとかすかべ→東武春日部駅

参加者：熊坂(L) 奥村(SL) 勅使河原 五十嵐志 平石 青松 清水 市村 小田 山田 畠
高橋友 脇坂 鹿島 山口 篠 三浦 計17人

「東照宮へ、ロマネスク日光街道」4回目は、日本橋から3つ目の越ヶ谷宿があった越ヶ谷駅からスタート。あいにくの雨模様、「いにしへの旅人も雨の中、日光をめざしたときもあっただろう」などと思いながら、「旅人に雨はつきもの、晴れているときだけではないよ、雨もまた楽しく」と受け止めてスタート。幸い昼前早い時間に雨上がり、楽しい日光道中となりました。

この日のゴール春日部駅近くの郷土資料館には「粕壁宿」に関して次のように解説されていました。

日光道中は江戸から日光東照宮まで21の宿場があり、長さ38里余（約150km）、徒歩で3泊4日ほどの工程でした。粕壁宿は、江戸日本橋を基点に千住・草加・越谷に続く4番目の宿場町として栄えました。日本橋より9里2町（約36km）の距離に位置しており、徒歩で江戸からほぼ1日の距離でした。

いにしへの旅人の健脚ぶりに感心しながらも、この日も見どころいっぱいの中道で粕壁宿まで来ました。次回は粕壁宿から5番目の杉戸宿をめざす「東照宮へ、ロマネスク日光街道」、楽しみです。



元荒川の桜堤通り

北越谷駅 10時スタート～桜堤通り～元荒川河川敷～北越谷第5公園

北越谷駅改札前の空きスペースを利用して、熊坂リーダーがコース説明。みなさんレインウェア姿になっています。10時丁度、傘をさしてのスタート、東武鉄道高架沿いに歩き桜堤通りへ出て上流へ。前回のレポートで「徳川家康が鷹狩りのために建てた越ヶ谷御殿跡をさらに進み元荒川に架かる宮前橋を渡ります。渡り切ったところが、平安時代から除災招福の神として信仰を集めてきた久伊豆神社です」と書きましたが、その少し上流です。河川敷へ下りて、雨が止んだ北越谷第5公園でストレッチ。三角形の姿の形の良い大木が、川からの風を遮るためなのでしょうか一列に9本、すっかり紅葉していました。



元荒川緑道～宮内庁埼玉鴨場～越谷梅林公園 ひまわりとコスモスの競演

元荒川緑道を上流へ進みます。河川敷と反対側の右手に黄色に色づいたイチョウの木が1本、その先に竹林が広がっています。熊坂さんが「あそこが宮内庁埼玉鴨場よ」と教えてくれました。宮内庁鴨場は「皇室が国内外の賓客を招いてもてなす施設」で、伝統的な手法によって鴨猟を行います。宮内庁が管理する鴨場は、全国で2ヶ所のみ（埼玉鴨場と千葉県の新浜鴨場）。越谷市や埼玉県、宮内庁が開催する見学会で入ることができます。少し進んで越谷梅林公園へ下ります。雨が少し降ってきて東屋で小休憩、梅林の一角に季節外れの見事な黄色のひまわり、その隣にはピンクのコスモスの花が群生していました。



梅林公園～日光街道北上～東武鉄道踏切～11時15分下間久里香取神社

梅林公園を10時45分に出て、日光街道へ出て北上します。片側一車線の道をひっきりなしに車が走っています。横断歩道を渡って道路右側を歩きます。少し進んだところで東武鉄道の踏切、その線路脇に「居酒屋かんかん」の看板、まわりは住宅街、地元の人が集う居酒屋なのでしょう。梅林を出て20分ほど、雨が上がりました。農家の庭先にたわわに実った柿の木と空高く伸びた皇帝ダリアが紫の花を咲かせていました。11時15分、下間久里香取神社に到着。ここの境内で毎年7月、1594年（文禄3年）に京都から伝わったとされる「下間久里の獅子舞」が奉納されます。埼玉県は無形民俗文化財に指定されています



香取神社～陸橋入口交差点～戸井橋～春日部市へ～12時前に大枝公園

「朝食早く食べたのでお腹空いた」の声に、リーダーが「12時頃には昼食場所の大枝公園に着く予定よ」の声を励みにスタート。日光街道を陸橋入口交差点まで進んで国道4号と合流、手間台東まで来ました。車線は広がりましたが車は相変わらずの混雑です。ここからは左側に幅広の歩道があり歩きやすくなりました。「日本橋まで30km」の道標、「左200m東武せんげん台駅」の標識、新方川まで来ました。2羽しか写っていませんが川には沢山の鴨が、少し前の「鴨場」が頭をよぎりました。戸井橋を渡り春日部市に入り、もうすぐ昼食場所、足どりも気持ち軽くなります。12時少し前に広大な敷地の大枝公園に着きました。



東屋の下で昼食タイム 空少し明るく～歩幅測定～13時00分 林西寺

昼食タイムです、女性7人は東屋の下で話が弾みます。男性は広大な敷地に昼食場所を求めてそれぞれに、男の哀愁をおびたお三方の後姿をパチリ。12時半前、雨もすっかり上がり空も幾分明るくなり午後のスタートです。リーダーの「ここからは林西寺まで立ち寄りところなしよ」の声。途中、31.4km道路表示の所から31.5kmの所まで少し速歩（歩幅広くなります）で歩数を数えてみたら128歩、歩幅は約78cmになります。31.6kmからはみなさんと同じ速度で142歩、歩幅は約70cm。ゆったり速度だと歩幅狭くなり、65cmほどかと思いました。13時ジャスト林西寺へ到着、本堂前で集合写真を撮りました。



林西寺～備後交差点～直線道路を北上～粕壁八幡神社～東八幡神社

林西寺を出て日光街道に戻ります。「備後」という交差点がありました。「備後の国と関係あるのかな」などの声、周りの地番名は備後東した。12時25分、「日本橋から33km」の標柱通過。少し進んだところに「史蹟備後一里塚跡」の道標、少し長い列になりましたが直線道路をひたすら北上。東武一ノ瀬駅標識通過、東武野田線高架下を通り、13時56分に「日本橋から35km」の標柱。信号待ちを2～3回しましたが、2kmを31分で歩いてきました。この間は1時間約4kmのペースです。14時丁度、粕壁八幡神社到着、「春日部」なく「粕壁」表示です。隣の東八幡神社へ、長い参道を進み14時10分、本殿のある境内へ。



東八幡神社の大けやき～東陽寺～14時30分 春日部市郷土資料館

境内に樹齢約600年の御神木「東八幡大けやき」が立っています。道路を挟んで隣の東陽寺へ立ち寄り、日光街道へ。日光道中粕壁宿脇本陣跡の標柱がありました。14時30分、春日部市郷土資料館へ到着。入口右手に江戸時代の粕壁宿の緻密な手作り模型が展示されています、少し前に見た脇本陣もありました。



資料館～元町公園～ぷらっとかすかべ 歩数 2万2000歩 距離 13 km

館内は、春日部市の歴史の変遷や生活文化に関する資料が展示されています。入口を入って正面に「花積貝塚で検出された約4800年前の縄文時代中期の竪穴式住居」が復元されていました。左手に「縄文時代は、現在の海面より約2～3m高く、海が内陸奥深く入り込んでいた」と解説図面があり、春日部周辺も海だったことが描かれています。粕壁宿の模型や「北日光、東江戸」の道標などが展示されていました。資料館を出て近くの元町公園でクールダウン、歩道に「東武ガス」の文字、この辺りの都市ガスは東京ガスではなく東武ガスのようです。15時15分春日部駅近くの「ぷらっとかすかべ」前へ。ここでこの日のまとめ、歩数2万2000歩、距離13km。近くの柳屋正家和菓子店でたわら最中をお土産に購入しました。



(いちむら記)